

科目ナンバー： BB1022

授業コード： 2220100200

講義科目名称： 地域社会と住民組織

英文科目名称： Community and Community Organization

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	選択必修
担当教員			
◎渡辺弘之			
添付ファイル			

授業種類	【開講】 前期 【授業時間】 15時間 【担当教員】 【氏名】 ◎渡辺 弘之 【所属】 新潟県立看護大学 【研究室】 208 【メールアドレス】 hiro@niigata-cn.ac.jp 【本学の科目区分】 専門基礎科目 【保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める種類】 看護師課程 【DP1】 【DP2】 【DP3】 【DP4】 【DP5】 【DP6】 【DP7】 ○ ○ ◎ ○
------	--

到達目標	1.住民側の視点に立ち、住民からみて何が「問題」とされるのかについて理解することができる 2.地域社会の中で生じるコンフリクトが何を原因としているのかについて理解することができる 3.地域における住民ニーズとは何かについて理解することができる 4.地域における少数者や貧困問題に直面する住民に対するエンパワーメントのあり方について理解することができる 5.住民のニーズを理解し、自分がサービス提供者として活動のあり方について構想することができる
------	--

授業概要	地域社会で発生するさまざまな問題の分析を通してその解決手法について学びます。また地域で活動する方々、NP0で活動されている方々を招き、福祉や教育などの民間活動（NP0）の活動について実践例から学びます。授業は一コマ追加となります（全部で9回の開講になります）。
------	--

授業計画	1 「地域社会」の概念はどのように扱われてきたか 授業形態：対面 学修課題：都市社会学における地域社会の概念について学ぶ 事前学修：都市社会学における「地域」の概念と保健医療分野で使われる「地域」の概念の差について調べる 事後学修：授業で学んだ内容に従って、学習と理解を深める 備考： 2 NP0の概念と成り立ち 授業形態：対面 学修課題：NP0の概念について学ぶ 事前学修：NP0の概念および「福祉NP0」とされる活動分野についてインターネット等で調べる 事後学修：授業で学んだ内容に従って、学習と理解を深める 備考： 3 施設建設反対運動とNIMBY 授業形態：対面 学修課題：地域住民の中でなぜ施設建設反対運動が発生するのかについて学び、地域コンフリクト解消の手法について考察する 事前学修：“NIMBY”の概念についてインターネット等で調べる 事後学修：授業で学んだ内容に従って、学習と理解を深める 備考： 4 新潟水俣病と住民 授業形態：対面 学修課題：新潟水俣病がどのような経緯で発生し、地域住民にどんな影響を与えたかについて学ぶ 事前学修：新潟水俣病の発生経緯、住民による原告団訴訟の経緯についてインターネット等で調べる 事後学修：授業で学んだ内容に従って、学習と理解を深める 備考： 5 東日本大震災の発生と地域住民への影響 授業形態：対面 学修課題：東日本大震災によって生じた地域社会への影響について学び、考察する 事前学修：東日本大震災発生時、東北地域において生じた問題についてインターネット等で調べる 事後学修：授業で学んだ内容に従って、学習と理解を深める
------	---

	6 備考： グラミン銀行とマイクロクレジットについて 授業形態：対面 学修課題：海外において貧困撲滅を目的として実践されてきたマイクロクレジット誕生の経緯と意義について学ぶ 事前学修：「マイクロクレジット」「モハメドユヌス」をキーワードにしてインターネットで調べる 事後学修：授業で学んだ内容に従って、学習と理解を深める 備考： 7 地域社会における難民支援活動の実際 授業形態：オンライン（ゲストスピーカー授業） 学修課題：民間活動実践例について1 地域社会における外国人難民の問題 事前学修：日本に在住する認定難民の概要についてインターネット等で調べる 事後学修：授業で学んだ内容に従って、学習と理解を深める 備考：ゲストスピーカーとして漆原比呂志さんからお話ししていただく予定です 8 授業内容 授業形態：対面およびオンラインのハイブリット（ゲストスピーカー授業） 学修課題：東日本大震災震災以降の民間活動の事例について 事前学修：東北地区をベースに活動するNP0団体等についてインターネット等で調べる 事後学修：授業で学んだ内容に従って、学習と理解を深める 備考：ゲストスピーカーの方からお話ししていただく予定です 9 NP0の設立と運営およびこれからの地域社会の概念 授業形態：対面 学修課題：NP0の設立と運営、これからの地域社会の概念 事前学修：NP0の設立についてインターネット等で調べる 事後学修：授業で学んだ内容に従って、学習と理解を深める 備考：
評価方法、評価基準	到達目標1～5.に対し、授業で理解した内容を踏まえ、NP0法人設立の申請書を作成します（レポート80%）。また、授業感想などのコメントを通じて、授業への参加度を評価します（授業への参加度と貢献20%）。授業への感想投稿によって出席とみなします。
必携図書	なし 授業のテーマに必要な論文、資料については授業中に紹介・配付します
参考図書・資料等	・L. M. サラモン、2007、NP0と公共サービス—政府と民間のパートナーシップ、ミネルヴァ書房 ・M. ユヌス、2006、ムハマド・ユヌス自伝—貧困なき世界を目指す銀行家—、早川書房 ・吉田千亜、2015、ルポ 母子避難—消されゆく原発事故被害者、岩波新書 ・関西学院大学災害復興制度研究所他、2015、原発避難白書、人文書院など（その他授業中紹介）
受講、課題、資料配布等のルール	担当教員による授業では対面、ゲストスピーカー講義では一部オンラインでの開講を予定しています。
教員からのメッセージ	さまざまな民間活動は社会に不可欠のものとなっています。すぐれた民間活動の熱意に触れ、皆さんの創造性が刺激されることを期待します。
オフィスアワー	事前連絡の上日程調整します。